



第7回全国生涯学習フェスティバル協賛

第10回特別展

# 大河 アムールの民・ナーナイ

1995.7.1<sup>土</sup>-9.8<sup>金</sup>

アムール民族芸術博物館収蔵資料展



北海道立北方民族博物館  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093 北海道網走市字潮見313-1 (天都山)  
電話 0152-45-3888  
FAX 0152-45-3889

POST CARD



Hokkaido Museum of Northern Peoples

偶像 Wooden Idol

収集地ノコンドン村(ロシア・ハバロフスク州)

アムール民族芸術博物館蔵

漁撈、狩猟の民・ナーナイは、アムール川下流域と松花江、ウスリー川の流域に暮らしてきました。

ナーナイは自然界に存在するすべてのものに靈魂が宿っていると信じ、恵みをもたらす山や川、海、湖など自然そのものは、精靈がその主として治めていると考えていました。この考え方をアニミズムといいます。このことと密接な関係をもつ宗教としてシャマニズムがあります。この宗教にはシャマンと称する人がたずさわり、靈界と人間界との仲だちをしたり病気の治療や予言などを行ないます。そのときにシャマンを補助するのが偶像です。偶像には人形の他にけものや鳥、カエル、トカゲなどの形のものもあります。ナーナイにとって、偶像は病気治療やシャマンの補助ばかりでなく家族や家の守護靈の役割もしています。